

講讀	同	一時間	Keller, Social Evolution, Giddings, Principles of Sociology.
----	---	-----	--

○副科目

英語	鳥助教授	三時間	Lodge, Reason and Belief of Alhantic monthly; Moterri Novels.
同	ロムバード	同	
獨逸語	成瀬講師	(甲)二時間 (乙)同	青木、獨逸語教材、卷一 Die deutsche Geisim Spiegel des Weltkrieges. Choix de Lectures Francaises Cours Élémentaire.
佛語	オリアンチ	(甲)二時間 (乙)同	Cours Complet de Langue Française. Cours Élémentaire. Choix de Lectures Françaises. Cours Supérieur.
希臘語	新村教授	一時間	
佛敎講義	熱田講師	(甲)二時間 (乙)同	
生理學	石川教授 (醫科)	二時間	
織田教授 (法科)		二時間	
教育行政		二時間	

心理叢書の發刊

心理學研究會にては松本博士主唱の下に大略左の如き規約を設けて心理叢書を發刊する由。因みにその第一冊は十一月一日發行桑田文學士の「靈魂の信仰と祖先崇拜」と決定せりと。

『心理叢書』刊行會規約(摘要)

- 一、本會は日本に於ける心理學上の獨創的研究を集成するために、『心理叢書』を刊行するを目的とす
- 二、本會の目的を賛成するものは何人にも會員となることを得
- 三、本會の會員たらんと欲するものは住所氏名を明記し、入會希望の旨を書添へ、東京帝國大學心理學教室内増田惟茂宛申込むべし
- 四、心理叢書は每冊四六版約二百頁内外とし、年二冊乃至四冊を發刊し之を會員に配布す
- 五、會員は叢書の發刊毎に出版費として金五拾錢内外の會費を前納するものとす(會費額は叢書の發刊毎に會員に通知す)
- 八、本會の事務は之を心理學研究會出版部に委托す

新著紹介

科學の價值

アンリ・ポアンカレ著
文學士 田邊 元譯

科學の價值を論ずるのは自然科學にとつて最後の問題である。然し哲學にとつてはそれが最後の問題であるかどうか。カントの哲學の第一の問題は如何にして純粹數學が可能なりやといふこと

であり、第二は如何にして自然科学が可能であるかといふ問題であつた。自然科学の構成、限界、及び價值如何といふことは哲學にとつては少くとも最後の問題でないことは明である。

最後の問題でないといふのは必しも最初の問題であるといふ意味ではないが最終の問題でないといふことはその重要さに於て吾々の第一に考ふべき問題の一であるといふ意味でなければならぬ。夫故に科學の價值如何の問題が哲學にとつて最後の問題でない、科學にとつて最初の問題でないといふことは、この問題が科學に對しても哲學にとつても共に重要な意義をもつてゐるといふことに外ならぬ。そして最初の問題でないといふことゝ最後の問題でないといふ一見相反對した言葉が共に同一意義をもつてゐるといふことは哲學と科學とがこの問題の中に相互の結合點を見出し得る事實を語るものと見て差支がない。自然科学はこの問題に及ぶことによつて哲學の領域に入り、哲學はこの問題を取り入れることによつて自然科学と交渉する。それ故にこの問題を論じ得る人は一面最も偉大なる科學者であり同時に優秀なる哲學者でなければならぬ。かくの如き資格を完備した人を廣く世界に求めて吾々は之をたゞこの書の原著者ポアンカレに於て見出す。そしてポアンカレの著書を譯出し得る人を我國に求めてこの譯者ほど適當なる人を見出すことができない。最も偉大なる科學者にして同時に卓越せる哲學者の著書がこの翻譯に最も適任なる田邊學士によつて譯出せられたことを喜んで世の篤學の士に紹介する。

東京神田南神保町一六岩波書店發行(定價一圓三十錢)(中川得立)

優波尼沙土物語

木村龍寛著

「優波尼沙土は實に印度思想の寶庫を開くべき鍵鑰である」、古來印度思想と日本との關係は決して淺くはない、然し「純粹」の印度思想は現今の日本人にとつては全く新しいものである。「タゴール氏來朝前後からかけて、近來印度思想紹介者の殖えた事は驚くばかりであるがその多くは斷片的であつた然もその中には印度思想を誤り傳へて居るものすらある様に開て居る、この時に當つて「八年振りで故國の土を踏まれた印度思想専門の著者が「多年研究の結果を公にして印度思想の紹介の一助たらしむべき義務を感じ面してその第一着手」として著された本書は元より一の物語とは稱せらるゝもその責任や實に重且つ大なるものがあるといはねばならぬ、本書編を別つ事二、一を解説とし二を物語とす、解説編に於ては(一)優波尼沙土以前の印度思想、(二)優波尼沙土の形式的方面、(三)優波尼沙土哲學の概念等その中尙種々細節項目を分ちて専ら優波尼沙土の解説に努め、物語編に於ては當該原本思想の内容より分ちチャンドーギヤ優波尼沙土以下九種比較的古く、然も深玄なる哲學思想の表はれたるものを撰び商鞅の註釋に從ひ所要所を抜粹し稍六ヶしい物語式に抄譯と紹介とを兼ね各節の終りにはその節の要點をも摘出し讀者の便を計つてある、その物語篇が本書全卷殆ど五分の四を占めて居る所から見ると本書名の由來も略ぼ推察が出来る、印度思想研究の入門書として參考になる事は之を疑はない、併し私は近頃珍らしい本書が無批評的に一般世人に讀まるゝ前に本書に對し聊か疑問を提出して置かねばならない